

京都西山短期大学関連情報〔令和6年度 教職課程〕

教職課程 情報公表（教育職員免許法施行規則第22条の6関係）

教育職員免許法施行規則第22条の6に基づく公表すべき教員の養成の状況は、次のとおりです。

京都西山短期大学では、共生社会学科こども教育コースにおいて教員免許状を取得することが可能です。仏教保育専攻において取得することが可能な免許種は次のとおりです。

学科・専攻	免許状の種類
共生社会学科 こども教育コース	幼稚園教諭二種

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること（第1号関係）

（1）教員養成の目標

共生社会学科のこども仏教保育専攻では、子どもは人格を持った存在であることに留意し、子どもの成長発達を援助するための専門的な知識とスキルを持った幼稚園教諭の養成を目的としている。さらに子どもの育ちをめぐる環境の変化が著しい現代社会において、時代の要請に応えるべく社会と共生し、新たな教育的課題に取り組むため、3つの指針にもとづいて教員養成をおこなっている。

- ① 生命尊重の教育
- ② 社会に積極的にかかわることで自己実現をめざす教育
- ③ 多元的価値観に基づく教育

具体的には、「教育基本法」第1条に示す「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民を育成」を基調にして、「学校教育法」第3章、第23条にいう、「3、身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと」ことを目的とする。また、「教育基本法」第2章に教育の目標として「4、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に気をする態度を養うこと。」と示されている。

教員養成の現場において、このような目標に基づき、さまざまな幼児教育における問題解決能力を有し、地域の幼児教育における要請にこたえうる中核的な教員として、その役割を担い得る幼稚園教諭の育成を目標としている。

（2）目標達成のための教育計画

これからはAIと共生する時代である。だが、どんなにAI社会が進んだとしても保育に最も必要なものは、思いやりの心と想像力である。これは仏の大なる慈悲のこころを知り、それを活かして人間力の形成を追求しようとする「学仏大悲心」という本学建学の理念と通底している。また保育のいとなみは、乳幼児と保育者が生きている人間同士として心と心が触れ合う中で行うとても人間的な行為である。このような人が人と成る基盤を育てる幼児教育にたずさわっているという保育者のプライドを、上記の「思いやりの心と想像力」という保育の心と共に常に伝え続けることをベースとして、幼児教育・保育の専門家としての諸能力（「知識、保育技能、役割認識、実践力」）が達成できるよう、次のようなカリキュラムを立てている。

1. 本学のもつ歴史的、文化的背景や自然の豊かさ、すばらしさに学生が気づき感覚、感性を磨き、そこで得した命の大切さ、自然の大きさを子どもたちに伝えることができる。
2. 授業、書籍、メディア情報、身近な出来事などから、子どもを取り巻く環境、問題を意識し、自ら学びを進め、課題を設定し社会に働きかけることが出来る。

- 子どもの「遊び」に焦点をあてた授業「こどもあそび学」を学ぶ。この授業は、学生自らが子どもの心に戻って遊びを実践し、そこで五感を通して感じとった感覚から子どもの心（育ち）を実感を持って想像するというものである。子どもの気持ちや欲求を肌感覚でとらえる力を養い保育にいかす。
- 近隣の小学校、幼稚園、保育園、子ども食堂などとの交流や地域の行事に参加できる機会を活かし、保育実践を高めまた、地域社会や子どもへの理解を深める。学びを進めるモチベーションにする。これらの計画に学生が主体性をもって取り組み、学びを深めることができるように、教員は連携して援助、指導する体制を整えている。

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること（第2号関係）

（1）組織

【京都西山短期大学 教学委員会】

委員長 前川豊子 特任教授（学科長）	委 員 脇田修司	事務局長
委 員 高橋 司 特任教授	委 員 古川浩一	参与
委 員 小野功一郎 教授	書 記 兵田大和	教学課課員
委 員 川本真佐美 准教授	書 記 松尾紗矢佳	教学課課員

（2）教員の数（専任教員のみ）

「領域に関する専門的事項」	「保育内容の指導法」及び 「教育の基礎的理解に関する科目等」
3人	3名

（3）各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目 (こども教育コース専任教員のみ)

教員名	学位	専門分野	担当科目
高橋 司 特任教授	修士 (社会学)	保育・児童文化	保育原理、教職論、こどもあそび学、こどもあそび学入門Ⅰ・Ⅱ、保育内容・言葉、保育実習Ⅰ
前川 豊子 特任教授	学士 (文学)	幼児教育学保育学	子育て支援、保育内容総論、子どもと環境、保育内容・環境、保育・教職実践演習、保育実習Ⅰ、総合演習
保田 恵莉 特任教授	博士 (社会福祉学)	保育 保育実習	子ども家庭福祉、保育内容・人間関係、教育相談の理論と方法、教育課程総論、子ども家庭支援論、保育実習指導Ⅰ、総合演習、

教員名	学位	専門分野	担当科目
堀川 裕之 特任教授	博士 (医学)	心理学 社会健康医学 社会福祉 特別支援教育	子ども理解の理論と方法、子ども家庭支援の心理学、特別な支援を要する子どもの理解と支援Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、保育実習Ⅱ又はⅢ、総合演習
松岡 哲雄 講師	修士 (学校教育学)	発達、保育学 学校教育	子どもと健康Ⅰ・Ⅱ、保育内容・健康、総合演習、ヘルスアップスポーツⅠ・Ⅱ
木本 雅子 准教授	修士 (教育学)	芸術実践 音楽教育	音楽Ⅰ・Ⅱ、保育内容・表現、音楽Ⅲ（幼児音楽）、音楽Ⅳ（音楽表現）、基礎音楽、子どもと表現（音楽）、総合演習

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること（第3号関係）

- (1) 教員の養成に係る授業科目【ホームページで公表の2024年度学生便覧P23～P26を参照】
- (2) シラバス【ホームページで公表の2024年度シラバスを検索して参照】

4. 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること（第4号関係）

免許種/年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
幼二種免	28	14	15

5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること（第5号関係）

学科/年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
佛教保育専攻 (令和6年度から子ども教育 コース)	21	15	15

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること（第6号関係）

(1) シラバスの充実

「到達目標」にはより明確な学生像、「授業計画」には回数ごとの予習・復習記載、「成績評価の方法・割合」には具体的な記載を、シラバス作成マニュアルに基づき徹底することで、学生の学習意欲向上に努めている。

(2) DPと授業科目の関連性の明示

佛教保育専攻の学習成果は、ディプロマ・ポリシーにおいて示しており、授業科目と卒業認定・学位授与の方針の関連はシラバスに示している。

(3) カリキュラム・ツリーの作成

学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との対応関係を示し、体系的な履修を促すカリキュラム・ツリーを作成している。

(4) GPA の活用

GPA 制度により、教員は年度ごとに算出した GPA を専攻内で確認し、学生の学修意欲を把握している。GPA の分布は年度ごとに作成し、専攻全体が適正に成績評価を実施できているのか確認している。

(5) 授業評価アンケートの実施

教職課程にかかる全授業科目に対して、学生による授業評価アンケートを実施している。そのアンケート結果を担当教員が分析・評価を行い、学習内容の充実および学習環境の向上・改善に努めている。また、各教員からコメントシートの提出を求めており、その内容を専攻会議において確認し、必要があれば学科長から改善等を依頼している。

(6) 地域と連携した教育

地域の児童が参加する祭りや保育所・幼稚園でのボランティア活動など、学生と地域の子どもたちが関わる機会を創り出している。指名